

< 6月定例会一般質問内容 2017.6.15 実施 >

【武力攻撃災害発生時の対応について】

- ・ 盛岡市の国民保護計画に基づいた対応
- ・ 武力攻撃災害を想定した避難訓練の実施

【旧盛岡競馬場跡地の整備と利活用について】

- ・ 今年度の整備計画の詳細
- ・ 利活用の状況

【次世代エネルギーパークについて】

- ・ 国の認定を受けてからこれまでの効果と課題
- ・ 新たな構成施設の検討
- ・ 今後の展望

【街路樹の維持管理について】

- ・ 根上りによる歩道の隆起対策



武力攻撃災害発生時の対応について

【質問要旨】

- ・ 北朝鮮の度重なるミサイル発射を受け、市では自然災害対策と同時に、独自に武力攻撃を想定し、市民の生命、安全、財産を守る対策を取る必要が今後あると考えるが、どうか。
- ・ 市やその周辺に侵害を受けたときに、市民への被害を限りなく小さくし、迅速に避難させることができるのか。
- ・ 武力攻撃の対処等で、警察、消防、自衛隊との平時からの連携や協議、訓練等が行われているのか。また、市内の病院との連携協議などは、どのようにしているのか。
- ・ ミサイルを想定した住民避難訓練の実施に対する考えを示せ。他

【答弁内容】

(市長答弁)

市独自の武力攻撃を想定した対策については、「盛岡市国民保護計画」に基づき、市の対応力の強化に努めるとともに、国、県、関係機関との連携を一層強化してまいりたい。

市やその周辺に侵害を受けたときの避難については、国が示す要領をもとに作成した、大規模テロ災害に対する避難実施要領に基づき、警察、消防、自衛隊等と協議・連携して住民避難を実施し、安全を確保することとしている。警察、消防、自衛隊や市内の病院との平時からの連携や協議、訓練については、重要事項を協議する「盛岡市国民保護協議会」において、各所からも委員として助言等をいただくなど、情報共有を図っているほか、平成27年度には、市内において、住民避難や傷病者の搬送、受入などを円滑に措置できるよう、国、県、関係機関と共同で国民保護計画訓練を実施するなど、平時からの連携強化に努めている。

ミサイルを想定した住民避難訓練の実施については、ミサイル落下など、万が一に備えての国民保護に係る避難訓練は、地域の皆さまを始め、県や、自衛隊、消防などの関係機関と連携した取り組みが効果的であると存じており、実施については、国、県等と協議してまいりたい。

むやみに市民の不安を煽るのもよくありませんが、中には「まさかミサイルがここまで飛んでこないでしょうか？」と、絵空事として捉えている方も多いのではないのでしょうか。ただ、ミサイルが頻繁に飛ばされている今の状況では、大規模な地震が起きるより可能性が高いと考えるのは至極当然であります。いざという時に備えた避難訓練によって、数多くの命が救われることにもなります。本来であればリーダーシップを取らなければならない県知事は、市町村次第として責任を回避している状況です。ぜひ、県都として避難訓練の実施を呼びかけ、「盛岡市としてどうするのか？」を具体化していくべきと考えます。

旧盛岡競馬場跡地の整備と利活用について

【質問要旨】

- ・ 自由広場ゾーンの今年度の整備計画の詳細
- ・ 管理運営体制の検討状況について示せ。他

【答弁内容】 - (市長公室長、都市整備部長)

旧盛岡競馬場跡地の自由広場ゾーンに整備する駐車場の台数については、約120台を予定しており、駐車場の南側に建築する予定のトイレ兼倉庫のトイレは、男子トイレに小便器2基と大便器1基、女子トイレには大便器2基、その他に多目的トイレの設置も予定している。

想定される利用方法としては、人工芝とクレイ舗装のグラウンド2面を多目的広場として整備する予定であり、レクリエーション的なスポーツ活動としての、サッカー、グラウンドゴルフなど、また、様々なイベント会場としての利用を想定している。事故防止対策として、道路及び居住地へのボールの飛び出しを防ぐために、各多目的広場の四方に、想定される利用形態を踏まえた防球ネットを設置する予定している。供用開始時期については、駐車場、トイレ及びクレイ舗装のグラウンド1面がある東側の区域は平成30年4月に、人工芝のグラウンド1面と多目的芝生広場がある西側の区域を含めた自由広場ゾーン全体は平成31年度4月の供用開始を目指している。

旧競馬場跡地全体の管理運営体制については、上田・緑が丘地区振興懇談会において、施設利用者の利便性向上や防犯の観点などから、管理人を常駐して欲しいとの意見が出されているが、現在は、指定管理者による巡視を含めた施設管理を行っている。新しくできる自由広場ゾーンについては、施設の利用申し込み受付方法など、利用者が利用しやすい施設になるよう、今後の管理方法・管理体制を検討している状況である。

人口減少、少子高齢化、地方分権の進展によって地域間競争が激化している中で、いかに地域に人を呼ぶか、訪れたい、暮らしてみたい街にするかが今後重要となっていくのではないのでしょうか。旧盛岡競馬場跡地は盛岡の有形無形の価値や魅力を発信するカギを握っている場所でもありますから、今後は、地域住民の利用に留まらず、交流人口の活性化が図れるような活用方法を市民協働で創り出せる道筋をぜひ作っていただきたいと思います。

次世代エネルギーパークについて

【質問要旨】

- ・ これまでの取組の成果と課題について。
- ・ 新たな構成施設の予定はあるのか。
- ・ 今後の展望を示せ。他

【答弁内容】 - (環境部長)

平成27年10月の認定以降、市の公式ホームページ及び環境ウェブサイト「エコもりおか」への掲載や市内の小中学校へのチラシ配布による情報発信を行ったほか、施設見学ツアーなどの環境学習講座を開催している。平成28年度の構成施設の見学者及び来場者は約50万人と、多くの方に利用いただいていることから、今後も周辺の観光施設などと組み合わせた施設見学ツアーの開催など、積極的な周知や事業展開を図っていきたいと考えている。

新たな構成施設については、平成29年4月に供用開始した、つなぎ温泉地域のバイナリー発電施設を現在追加する準備を進めているところである。

展望については、構成施設の追加を見込んでいる「もりおかエネルギーパーク」を活用した環境学習を広く展開することにより、次世代エネルギーへの理解を深めてもらい、再生可能エネルギーの利活用促進を図っていくとともに、構成施設やその周辺にある集客力を有する施設等を利用してもらう機会を捉えて、効果的な啓発を行いながら、施設見学者の増加を図り、併せて観光との連携も進めてまいりたいと考えている。

国のお墨付きということで、施設見学などの観光客の増加や環境学習の推進が図られるという次世代エネルギーパークのメリットを、今後も最大限に活かして欲しいものです。県内唯一のエネルギーパークですので、今後は盛岡を訪れる割合が多い県内の小中学校の修学旅行先にとPRしても良いのではないのでしょうか。

街路樹の管理について(根上りによる歩道の隆起対策)

【質問要旨】

- ・ 根上り道路となって歩行に支障が出ている箇所は市内にどのくらいあるのか。
- ・ 根上りしやすい樹木、生育しやすい舗装環境などのデータはあるのか。
- ・ 将来生育を考慮した植栽計画についてどのように考えているのか。他

【答弁内容】 - (建設部長)

根上り対応は、日頃の道路パトロールや市民の方からの連絡により、通行に著しく支障が出ている箇所に対して、随時対応しており、箇所数は特に把握していない。

根上りしやすい樹木・舗装環境などのデータについては、一般的に成長が早いケヤキなどが根上りしやすい樹木であると言われている。また、舗装環境に対するデータは把握していない。

将来の生育を考慮した植栽計画については、今後の道路の新設改良にあたって、将来的な管理を踏まえた樹木の選定や植樹のあり方について改めて検討し、景観形成、木陰の確保等、街路樹の機能にも考慮した植栽計画を検討していくとともに、根上り対応を含めた街路樹の管理計画についても検討していきたい。

街路樹は潤いある空間と癒しや安らぎを私たちに提供してくれます。しかし、成長を続ける街路樹の中にはその寿命は相当に長いものもあります。市の大切な財産でもある街路樹が市民の障がい物になってはなりません。しっかりとした維持管理のもとで、街の環境や景観をより良いものにしていくことを心から願います。また、根が生育できる隙間のある特殊な土壌を舗装の下に設け、地面深くまで根を伸ばし、また根上りの再発がしにくくなる工法を用いている自治体もある(横浜市の事例)ので、他都市の先進事例などの調査研究も行ってもらいたいものです。

